

# 課所室業務棚卸総括表

平成16年度(前期)行政経営会議用 様式2

賦課担当

年度	16	部局	課所室	担当(係)	作成者(職)	(氏名)	(連絡先)	棚卸表コード	No.
作成日	H16.8.10	市民生活部	国保年金課	庶務担当	-	-	-	2市国 05	市民生活 - 16

業務名称	国民健康保険税の賦課業務	成果指標	実績(H15)	目標(H17)	人工数(人)	予算(千円)
上位目的	被保険者の健康保持・増進等のため、国民健康保険事業の健全かつ適正な運営を図る	財政の健全化(単年度収支)	397,982千円	黒字	38	
担当業務目的	課税客体を適切に把握し、国保税の適正な賦課に努める。	適正賦課率	99%超	100%	8	3,856

活動概要(担当業務目的達成のための手段(2桁レベル))				事業費(千円)	備考欄
活動における指標		実績(H15)	目標(H17)		
担当業務目的達成のための主な手段(4桁レベル)					
01 課税客体を適切に把握する					
客体把握率(把握数/課税対象者)		99.99%	維持 向上		
<ul style="list-style-type: none"> <li>- 1賦課期日(4月1日)における加入世帯を把握する。</li> <li>- 2市民税申告データから適切に所得情報を入力する。</li> <li>- 3国保税申告書に基づく所得情報の入力をする。</li> <li>- 4効率的な課税作業をする。</li> <li>- 5不適切な申告内容の確認及び是正をする。</li> <li>- 6 2割軽減対象世帯を把握し、2割軽減申請書を発送する。</li> <li>- 7 2割軽減申請書に基づき適切に処理する。</li> </ul>					
02 市民の国保税について理解・関心を高める					納税義務者に対し、課税内容を分かりやすくするため、納税通知書様式の課税計算内容書を変更した。 平成16年度より医療分の税率等が改正されたため、これについて窓口説明用のパンフレットを別途作成し、国保受付各窓口設置した。
苦情率(苦情申立数/納税通知書発送数)		1%未満	0%		
<ul style="list-style-type: none"> <li>- 1納税通知書を送達する。</li> <li>- 2納税通知書に国保税の賦課内容についてのお知らせを同封する。</li> <li>- 3国保税の賦課内容について、広報あきたに掲載する。</li> <li>- 4減免制度の内容について、納税通知書や広報あきたに掲載する。</li> </ul>					
03 減免申請を適正に処理する					
受付から決裁までに要する時間に対する管理職の評価(3段階)		A	維持		
<ul style="list-style-type: none"> <li>- 1窓口及び郵送によって申請された減免申請を受理する</li> <li>- 2受理された減免申請書の審査を行い、適正・公平な基準により可否の決定をする</li> </ul>					
04 適切に窓口対応ができる職員を養成する					市民サービスセンター職員に対し、国保資格等の窓口業務や端末操作について研修を実施した。
窓口対応ができるまでの期間		6ヶ月	短縮		
<ul style="list-style-type: none"> <li>- 1適切に窓口対応ができるよう接遇研修を受講する。</li> <li>- 2担当内の研修を充実する。</li> </ul>					
05 適切な税率等について検討する					平成16年度に医療分について税率改正を実施した。 平成17年度に、税率等検討結果に基づき積算根拠等を明確にし、改正に向けて検討する。
予算額に対する赤字見込額割合		-	±0		
<ul style="list-style-type: none"> <li>- 1歳入歳出の見込みを適正に把握する。</li> <li>- 2過不足に見合う適正な税率を算出する。</li> </ul>					